

# 小森野だより

発行  
小森野1-1-1  
久留米工業高等専門学校内  
同窓会久留米工業会本部  
電話 (0942) 39-2743  
同窓会ホームページ  
http://www.h2dion.ne.jp/komorino  
同窓会事務局メールアドレス  
komorinokai@h2dion.ne.jp

## 夢の技術に挑戦を

同窓会 久留米工業会 会長 川島 秀雄 (電気工学科第一期卒業)

平成二十八年三月十六日、清々しい春うららかな日に、久留米高専第五十一回卒業式ならびに専攻科第二十二回修了式が挙行されました。時間の関係で端折ったところもありますが、次の祝辞を述べました。

本日は、高専卒業ならびに専攻科修了の皆さま、おめでとうございます。保護者の皆さま、おめでとうございます。

皆さん、学生生活も大いに楽しんだ事と思いますが、本当に面白いのはこれからですよ。自分の考え方次第で人生は大きく変わります。

実は、私は丁度五十年前(一九六六年)に、この久留米高専を卒業しました。

私達は久留米高専には入学していません。久留米工業短期大学附属工業高等学校というところに入りました。

全国高専の先駆けとして文部省が設置したモデルスクールとして発足しました。三年後に久留米高専が誕生しましたので、われわれは附属工業高等学校を卒業して、久留米高専の四年生に編入学しました。

その二年後に、久留米高専の電気科の第一期の卒業生となりました。

さて卒業して五十年、半世紀がたつ訳ですが、電気理論は何も変わっていない。新しい理論もない、私の知る限りでは。

しかし、五十年間の技術の進歩は凄

い。三種の神器と呼ばれた洗濯機、冷蔵庫、テレビが普及し始めた頃ですから

ね。これより更に五十年前、つまり今か

ら一〇〇年前一九一六年と言え、この久留米地方にやると電気即ち電灯が普及し始めた頃の様です。

前の五十年と、今度の五十年では、進化のスピードが全然違うでしょう。夢の様なことがどんどん実現しました。

携帯電話、実はありました。重たいシヨルダーバッグで話すだけの機能です。

今の携帯電話は話す機能はほんの一部、携帯情報端末ですね。この機能がこのサイズに収まるのは驚きですね!

月着陸、超伝導、デジカメなども予想もしてなかった事ですね。

当然コンピュータも：実は私は高専の卒業研究で「アナログコンピュータによる制御シミュレーション」というのをやりました。

非常にコンピュータに興味をもって

いたから：ではないのです。高さ一八〇、幅三m位?だったと思

うが、結構熱が出るんですよ。図体は大きいけれどデリケートな奴で、この部屋だけはエアコンがあったんですよ。当時、エアコンのある部屋はここ

しか無かったんです。それで、この卒業研を選びました。

それから十五年後、会社で購入したコンピュータは空調の必要はなかった。

この電気機器が小型になり、発熱が少なくなったのはICの進化ですよ。

私が最も感動した技術はC-I-M-O S-I-Cです。二十五歳の頃、これを知った瞬間感動しました。消費電力0で制御ができるのですから、ロスが無

きるな!

スマホを始め、あらゆるものが進化したのは、C-I-M-O Sの省エネ、小型化お陰です。宇宙技術が進化したのも、医療技術が進化したのも、ロボット技術が進化したのも、通信技術がお陰

と言つても過言ではありません。これは明らかにノーベル賞ものです。いまだにそういう話はありませんが。

これから五十年先にはもっと感動する夢の技術が開発されるでしょう。例えば

「フロンストップ新幹線」

いま東京一名古屋間(五五〇km)に超電導で浮いて走るリニア新幹線が計画されています。(時速五〇〇、六〇〇km/h)、二〇二七年開業予定

だそうです。一時間で突っ走る予定ですが、実際はそうはいかないでしょう。なぜなら

途中、横浜、静岡...と止まるたびに、減速、停止、再加速を行います。これで時間を食います。九州から北海道まで約二〇〇kmをフロンストップで走る

弾丸列車が良いですね、東京で下りる人は静岡あたりから、これにピタッと並走して走る車両に移る。この並走車両が減速して東京で止まる。本体はそのまま突っ走って行きます。こ

ういう新・新幹線が計画されるでしょう。

「自動運転の車」

これは既にトヨタ、ニッサン、ホンダなども開発中ですが、これは車よりもむしろ道路の標準化、安全に対する法的整備が大変でしょう。

私は二十年前、工場内の無人車の開発に携わってきたので早くから興味がありました。単に家用車を自動運転にしても意味がない。居眠り運転、飲酒運転を助長するのではないかと思

います。トラックを物流ターミナルから物流ターミナルまで無人運転し、自動的に荷物を積み下ろしする物流システムは効果的だと思います。

「ロボット」

つい先日、ロボットと最強のプロ棋士が囲碁の対戦をしてロボットが三勝一敗でした。無敵に近いです。うな次の一手を高速で判断するのは人

工能にはかなわないでしょう。

災害救助用ロボットなど危険な場所、人が入れない場所で働くロボットの開発を期待しています。

「私は、ロボットよりむしろサイボーグ」

パラリンピックの選手の中には義足で、健常者の記録よりも良い人がいるそうです。よくドーピングが問題になります。筋肉増強剤どころか、手を入れ替えたり、脚を入れ替えたりする選手が出てくるかも知れません。

私は子供の頃から眼が悪く苦労しましたが、そのうちきつと眼の玉を入れ替えられる時代がくると期待しております。あわよくば遠くから近くまで、即ち、望遠鏡の世界から、顕微鏡の世界まで調節できる眼の玉が出来ると知れないと期待しております。

こういうサイボーグ技術は医療技術とあいまって進化すると思います。

「宇宙開発」

人が「月」に行ったり「火星」に行ったりするのも夢では無くなりました。日本の梶田さんという方が、ニュートリノという素粒子に質量があるということを発見してノーベル賞を貰われました。これにより宇宙開発に、はみがつくと言われています。それは大いに結構な事ですが、我々の住んで地球の内部は、宇宙と違って全く見えない。偉い物理学者の先生方が推測はしてある。が、ニュートリノを地球の表から裏まで透過する事により、地球の内部構造がレントゲン写真のように見えるようになる可能性はないでしょうか?

「最後にエネルギーの話」

人間は他の生き物と違い「太陽からの今のエネルギー」だけでなく、過去のエネルギーを掘り出して利用しています。その所為で他の生き物より遥かに豊かな生活をしています。

しかし石炭、石油等を燃やす事により二酸化炭素が増え、地球が温暖化します。

この二酸化炭素を、植物が行っているように、光合成を人工的にして酸素と炭素に分ける技術が開発されているそうです。これが実用化されれば、二酸化炭素は減り、炭素は何度でもエネルギーとして使う事が出来ます。まさ

## 第十一次同窓会開催

第十一次同窓会実行委員長 初瀬 房雄

第十一次同窓会は、平成二十七年十二月三十日(水)にホテルニュープラザ久留米にて開催されました。遠方からの出席を含め約百十名のご出席を頂き盛大かつ有意義な時間を過ごさせていただきました。

お忙しい中、学内から三川校長はじめご来賓の皆様、また全国各支部の代表の方々にもご参加頂き心より御礼申し上げます。午後二時からの総会に始まり夕刻の懇親会まで大きなトラブルもなく進行することが出来ました。準備段階よりご尽力いただきました学内実行委員の大津先生、同窓会事務局の古谷さん、並びに第十一次同窓会実行委員のご協力に改めて感謝申し上げます。又、今回も宮崎先生並びに吹奏楽部の現役学生の皆様には全会を通して演奏していただき大変好評でした。改めて御礼申し上げます。

総会では川島会長より平成二十四年度・二十五年度・二十六年度の事業報告並びに会計報告、平成二十七年年度の事業計画及び予算が満場一致で承認されました。

特別講演として、新高専二十期機械に夢の技術です。すでにマグネシウムでは実用化されています。それに先ほど話した地球内部には無限の熱量があります。これを利用した地熱発電は火山噴火、地震のリスクも減らすことが出来ます。将来の最も素晴らしいエネルギーのひとつとなるでしょう。

一〇〇年前に普及した交流電力は、日本では五十Hzと六十Hzがあり、この間の融通が容易ではありません。電気を蓄えたり出したりするのも余計な装置を要ります。自然の姿の直流であれば、水と同じく、高い所から低い所に流れます。余った所から足りない所へ流れます。蓄えたり使ったりすることも容易です。私もモーター車、直流配電の普及に生涯をかけたいと思っております。

他にも、夢のある技術が沢山あります。これらの技術は五十年後には花が開くでしょう。皆さん、これからこういう仕事に携わっていかれると思いますが、やればやるほど面白いですよ。そしてこれらの仕事がつくと皆さんを成長させてくれます。

仕事に積極果敢に挑戦する事が、充実した楽しい人生を送るコツであると私は思います。皆さんの五十年先を見る事は、私には出来ないかもしれませんが、皆さんが充実した楽しい人生を送られる事を祈念して私の挨拶をおわりにします。



# たかが還暦・されど我等の還暦を祝う会

古賀 康久 (機械工学科十期 昭和五十一年卒業)

平成二十七年十二月三十日(水)、還暦を迎える我ら機械工学科十期生の仲間が、四十年前ぶりに久留米へ集合しました。午前は久留米高専校内での記念植樹と記念品の寄贈式(電波時計)に始まり、学校内ツアーで四十年前の在りし日の姿を思い浮かべました。午後からは久留米工業会主催の大同窓会への参加、神職を会場にお招きし還暦のお祓い祈願、還暦を祝う会(クラス同窓会)、二次会と二日がめまぐるしく進行していきました。



還暦祝う会 集合



記念植樹 集合

六年前から、今年の実行委員長 佐藤栄君が同級生の自宅や会社訪問を精力的に行い、連絡先(住所、電話番号)と近況確認を始めています。これをベースに八ヶ月前から、その行動に同調するメンバー十名が結束を固め、実行委員を名乗り、還暦祝い参加への呼びかけを行いました。前哨戦として、六月に久留米近傍に住んでいる方々を中心に、プチ同窓会を実施したところ、十七名の参加があり、年末の還暦同窓会への足がかりとなりました。毎月一回の実行委員会は久留米高専図書館等を利用して行い、当日を迎えるための準備にかりました。懇親会場の手配、植樹及び銘板準備、記念品の選定、出席案内、参加費の為の口座開設、垂れ幕や名札の製作、会を盛り上げる為の映像・BGMの準備、寄せ書き用色紙の手配など、結構な時間を費やし、準備しました。

今回の準備で最も苦労した点は、個人情報報の壁をどう打ち破るかでした。会社には

# 「おせっかい」縁の糸を手繰って

佐藤 栄 (機械工学科十期 昭和五十一年卒業)

また同じ夢を見た。それは深い眠りに落ちていた夜中に繰り返された。耳元で盛んに「四国へ誘う声」が囁かれ、目が覚めるのだ。

四国から呼ばれたのである。一念発起し四国巡礼の旅に出た。四国八十八ヶ所その距離およそ二四〇〇km。遍路修行の旅である。参拝の作法に従い、お寺の本堂と大師堂それぞれで「十善戒」を唱えた。

「不殺生、不偷盗、不邪淫、不妄語、不綺語、不悪口、不両舌、不慳貪、不瞋恚、不邪見」弘法大師空海ゆかりの四国

八十八ヶ所の霊場、和歌山県にある天空の聖地高野山奥之院と宿坊、そして京都の東寺で修行し「満願成就」を迎えた。手ごたえも感じていたのに、それなりに「不動心」が身についたかと思えた。今回の「たかが還暦・されど我等の還暦を祝う会」のお世話をするのに心の準備は整えたつもりであった。生活信条は、「心の準備と覚悟を持たずして人の世話を焼くな」である。世の中ひとつの意見でまともなはずがない。四十年の歳月が、他人の知らない人生経験が旧友の現在の姿を支えている。こちら思いとは裏腹に何か不愉快な情報が入ったり、自尊心を傷つけられるようなこ

在籍しているが、本人へたどり着かない現実を、一人ひとりのアイデアと行動で解決していきました。この様な結果、クラス同級生七十七名中、五十二名の出席を得ることができました。出席率約七十%の驚異的な数字となりました。残念ながら、四名の方々が他界し、会の始めに名前を読み上げ、黙祷を捧げました。遠くは、国内では東北から帰省の方や海外ではロシアのモスクワ、米州から帰国しての参加者もいました。仲間が如何に世界で活躍しているかが確認出来た次第でした。尚、一名が病氣療養中という事で、激励の寄せ書きを出席者全員で書き込み、贈ることにしました。

この度の還暦同窓会の想いは、この節目に、記憶に残る限りの学生気分を今一度呼び起こし、出合い直し、語り合い、思い出が色褪せない様、時間と空間の共有を目指しましたが、五年後の再会を約束して会を終えたように、全員で今後も連絡を取り合える様に約束することが出来た、思い出深い一日となりました。



還暦同窓会開始



宴会風景

とを言われたりすると、直ぐに怒りや悔しさで心が動揺する。会話の中で自分が知らないうちに相手の地雷を踏んでいたらしい。そんな小さい自分に気づくと情けなくなるがどうしようもない。旧友のありようをありのままに見て、聞いて、そのまま受け入れ自分の都合で勝手に判断しないことしよう。

「あなたの考えも正解。セイカイ。だいせいお節介」は、人から教えられてできるものではない。生来の「仏性」を表現するのだ。来る平成二十七年十二月三十日水曜日を「人生二度の記念日」として、旧友全員に漏れなく案内状を出し、みんなできに人生の記念日をもうひとつ増やし、みんなで共有するために。

# World Materials Day Award 最優秀賞を受賞して

成清 香名子 (専攻科 物質工学専攻二年)



私たち専攻科物質工学専攻の三名(成清香名子、古賀貴智、門口純)は、二〇一五年九月に九州大学にて開催された日本金属学会での World Materials Day Award において、最優秀賞を受賞しました。これは「材料に関する知識とその重要性を社会や若者に啓発する活動」に貢献があった学生を顕彰するものであり、私たちはこの World Materials Day Award において「様々な視点から金属を観察する」ことをテーマとして三つの異なる視点から材料工学を啓発する手法についての発表を行いました。まず、物理化学からの視点として、身近な金属であるアルミニウムの酸化による発熱反応を利用したカイロづくりに関する発表を行いました。二つ目に、金属の凝固からの視点として、デカメーションという手法を用いて、金属が凝固する様子を肉眼で観察するための実演を行いました。これら二つのテーマは「創造工学実験」という、自ら実験のテーマ、方法を決定して実験を進める科目で取り組んでいた内容であり、夏休みに行われる体験入学で実演を行うことを目標に考えたものです。三つ目の視点は金属の歴史とし、青銅鏡の複製を行う中

# 第12回 大同窓会の御案内

同窓生の皆さまにおかれましては、益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。さて、第12回 大同窓会を12月30日(金)に開催しますので、多数の御参加をお願いいたします。

記

- 日時** 平成28年12月30日(金)  
14:00~ 総会&特別講演会  
15:40~ 懇親会
- 場所** ホテルニュープラザKURUME  
(西鉄久留米駅より徒歩5分)  
久留米市六ツ門町16-1  
TEL 0942-33-0010
- 会費** 5,000円

※問合せ先  
同窓会事務局 Email: reunion.kosen@gmail.com  
TEL 0942-39-2743

第12回大同窓会実行委員



平成27年12月30日に開催された 第11回大同窓会の模様。皆で遣還歌を歌っています。

## 本校卒業生及び専攻科修了生数

(2016年3月現在)

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	46	機械・電気システム工学専攻	16
電気電子工学科	46		
制御情報工学科	36	物質工学専攻	11
生物応用化学科	36		
材料工学科	36		
合計	200	合計	27

## 平成28年度入学生数

学科名	人員	専攻科名	人員
機械工学科	42	機械・電気システム工学専攻	16
電気電子工学科	43		
制御情報工学科	43	物質工学専攻	13
生物応用化学科	42		
材料工学科	43		
合計	213	合計	29